

ACANTHUS NEWS



平成15年 2003.5

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第79号

工学部2学科JABEEに認定

TOP NEWS



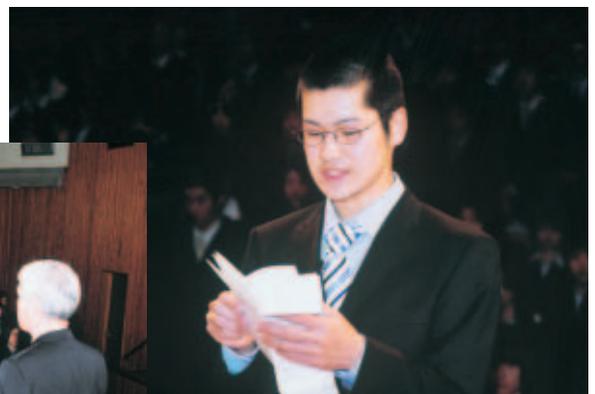
会見に臨む畑工学部長（中央）と関係教官
＝工学部秀峯会館中会議室

工学部土木建設工学科、機能機械工学科の両学科が、日本技術者教育認定機構（JABEE）から、社会の要求水準を満たし国際水準の技術者教育をしているとして認定され、5月2日、記者会見で発表した。2002年度に全国で認定されたのは23大学の32プログラムで、両学科はその中でも最も期間の長い5年間（2002－2006年度）の認定を受けた。[関連記事は6頁、7頁に掲載]

入学宣誓式

4月7日、金沢市観光会館で学部等の入学宣誓式、続いて医学部十全講堂で大学院の入学宣誓式がそれぞれ挙行された。[学長告辞及び関連記事は2頁、3頁に掲載]

入学宣誓する大学院の入学者代表
＝医学部十全講堂



入学宣誓する学部等の入学者代表
＝金沢市観光会館

学長告辞

広い視野で現実を直視し、一歩ずつ前進を 平成15年度入学宣誓式学長告辞

本日ここに1,930名の新入生を迎え、平成15年度金沢大学入学式が挙行されましたこと、誠に慶賀に存じます。新入生の皆さんおめでとうございます。本学への入学を心から歓迎いたします。

金沢大学は、昭和24年に、金沢医科大学、石川師範学校、第四高等学校、金沢工業専門学校、石川青年師範学校、金沢高等師範学校等を母体として新制の総合大学として設立されました。爾来50有余年、日本海側にある我が国の基幹大学として、高等教育と学術研究の発展に大きく貢献してまいりました。そして、社会が大きく変化する中で、本学は積極的に大学改革に取り組み、来年に予定される国立大学法人に向けて新たな一歩を踏み出そうとしています。

世界は今、混沌とした激動の時代にあります。環境、資源、食糧、人口問題など、すべてが危機的状態にあり、そこには成長の限界が叫ばれています。そして、このような時期に勃発したイラク戦争は、これまで営々と築いてきた国際協調の秩序や、合意形成の道筋を崩壊させ、複雑で不安定な国際情勢を生み出すとともに、成長の限界を自ら早めようとしています。

国内に目を転ずると、日本経済は今なお低迷を続けています。経済は、市民の生活における物資や情報の生産、分配、消費に関わる営みを、経国済民を旨として行う活動ですが、グローバル化の進む市場経済は、国家間の競争を激化させて



います。このように国内外ともに不安定で先が見えない状況にあつて、高等教育機関である大学には、社会をリードする人材の育成と学術研究の在り方が問われています。

20世紀の学術研究は、宇宙のマクロコスモスから、遺伝子の構造に及ぶミクロコスモスまで、多大な知見をもって産業の発展と生活水準の向上に貢献してきました。しかし、それらは専門化と細分化をもって進められ、得られた知見があまりにも無秩序に実践場に持ち込まれたことへの反省があります。人文・社会科学が人間の思考や言動、社会の諸現象を分析・考察するのに対して、自然科学や生命医科学においては、人間の本来あるべき姿を追求するという点で不十分であったことは否定できません。そして、このことが心身の分離と要素還元的手法を可能とし、それゆえ人間や社会との乖離をもた

平成15年度 金沢大学入学者数

1 学部		
文学部		179名
教育学部		221名
法学部		223名
経済学部		224名
理学部		197名
医学部		296名
薬学部		80名
工学部		470名
合計		1,890名
2 専攻科		
特殊教育特別専攻科		16名
3 別科		
養護教諭特別別科		24名

平成15年度 金沢大学大学院入学者数

文学研究科	修士課程	31名
教育学研究科	修士課程	52名
法学研究科	修士課程	18名
経済学研究科	修士課程	18名
医学系研究科	博士前期課程	69名
自然科学研究科	博士前期課程	459名
医学系研究科	博士課程	81名
医学系研究科	博士後期課程	27名
社会環境科学研究科	博士課程	18名
自然科学研究科	博士後期課程	76名
合計		849名

らしたとすれば、おのずと進むべき道は見えてくるはずで
す。すなわち、大切なことは、社会を意識した科学、science in
societyであり、それは技術の調和や医療倫理に基づく科学で
あり、そのうえで新しさを打ち出していく学術であると言え
ましょう。

21世紀に求められる大学は、社会に位置づけられる大学、
university in societyでありましょう。人類が多くの問題に直
面している今、社会が大学に何を求め、大学が社会に対して
何ができるかを考えねばなりません。

金沢大学は「地域に根ざし、世界に開かれた大学」を基本
理念とし、教育を重視した研究大学を目指して大学改革を進
めています。学部においては、カリキュラムの改訂、学生参
加型の授業、eラーニング等を進めています。ここでは
教官とともに、学生自らが学ぶ場を創り出そうとしています。
大学院においては、設立の理念である学際性や総合性を標榜
し、新領域を開拓する学術研究と、有為な研究者の育成を進
めているところです。

諸君には、国家の一員として、地球市民として、そして企
業人としてこれからの社会を担うことへの大きな期待があり
ます。入学にあたって、これからの4年間でどのような教養
を身につけ、どのように専門を学び、そのことが社会が変化
する中で、どのような役割をもって発展するかを考えていた
だきたいと存じます。グローバルな市場経済が、国と世界の
価値意識の狭間で揺れ動く以上、国際社会はいよいよ混迷を
深めることでしょう。このように先行きが不透明な時代にお
いては、広い視野で現実を直視し、一歩ずつ着実に前進する
ことが大切です。学問においても、まず基礎を固め、その上

でそれぞれの専門を追求せねばなりません。

諸君が本学で学び、友人と付き合い、金沢の町で生活する
4年間は、まさにこのための期間です。教養的科目に多面的
で柔軟な発想や学問のアプローチの仕方を学び、専門におい
ては知的な基礎体力を養い、さらには国際的に通用する感覚
とスキル、そして倫理観を身に付けていただきたいと存じま
す。

21世紀の大学は、社会に位置づけられる大学であり、学術・
学問は社会を意識した科学です。そして、このような大学で
学問を学ぶ諸君には、グローバルな国際社会に通用する社会
人となることを期待いたします。

兼六園の桜もほころび、角間の山々の草木も一斉に萌動し
始めています。諸君におかれては、伝統と歴史のある本学で
学び、金沢の町で生活することを誇りとし、新たな活動を開
始されますよう。社会の発展が、諸君一人一人の努力にある
ことを自覚し、実りのある4年間を過ごされるよう祈念し、
告辞といたします。



目次

工学部2学科JABEEに認定	1	日経BP技術賞医療バイオ部門賞	8
入学宣誓式	1	文教施設部長賞計画部門	8
広い視野で現実を直視し、一歩ずつ前進を 平成15年度入学宣誓式学長告辞	2	平成15年度金沢大学公開講座	9
先端研究フォーラム	4	発行	9
理学部でFDシンポジウム	4	新任教官説明会	10
医療事故に関する講演会	4	新規採用者研修	10
「MEX金沢2003」に出席	5	TA研修会	10
学長講義「学問への誘い」	5	第54回金沢大学暁烏記念式・記念講演	11
工学部（土木建設工学科、機能機械工学科） JABEE認定	6	ミニ講演「精神医学からみた不登校とひきこもり」	11
春の叙勲受賞の方々（本学関係分）	8	訃報	11
放射線影響研究功績賞	8	春の野鳥観察会—角間の里山自然学校—	12
		附属幼稚園角間の里山で遠足	12
		編集後記	12

ニュースの杜

先端研究フォーラム

4月19日、第3回金沢大学先端研究フォーラムが開催された。このフォーラムは本学研究者間の情報交換と研究の活性化を目的に昨年度から開催しているもので、今回は各部局の研究者10名が先進的な研究を発表し、56名が参加した。

発表を行う研究者

＝総合メディア基盤センター プレゼンテーション室



講演する絹川学長と熱心に聞き入る教職員
＝理学部大講義室

理学部でFDシンポジウム

4月25日、理学部は国際基督教大学の絹川正吉学長を講師に招き、FDシンポジウム特別講演会「授業をどうする」を開催し、100名近い教職員が参加した。

絹川学長は、現在の学生像やカリキュラム、授業評価などの観点から大学教員の「教育者」としての在り方について講演した。



医療事故に関する講演会

医学部附属病院は4月23日、医療事故防止に関する研修会の一環として、医療法人医真会理事長 森 功氏を講師に招き、講演会「日本の医療事故 ～大学病院の課題～」を開催し、医療従事者310名が参加した。

講演会では、日本の医療事故の実態と大学病院としての対応策について、他国との比較を交えて説明が行われた。



多くの医療従事者が参加した講演会
＝医学部臨床第一講義室

ニュースの杜

「MEX金沢2003」に出展

共同研究センターは4月10日から3日間、(有)金沢大学ティール・オーと合同で、石川県産業展示館で開催された「MEX金沢2003」に出展した。

今回は出展スペースを例年の2.5倍に拡げ、自然計測応用研究センターと工学部の4研究室による研究成果の試作品の実演紹介を行い、来場者から多くの質問が寄せられた。



共同研究センターのブースで科学技術相談

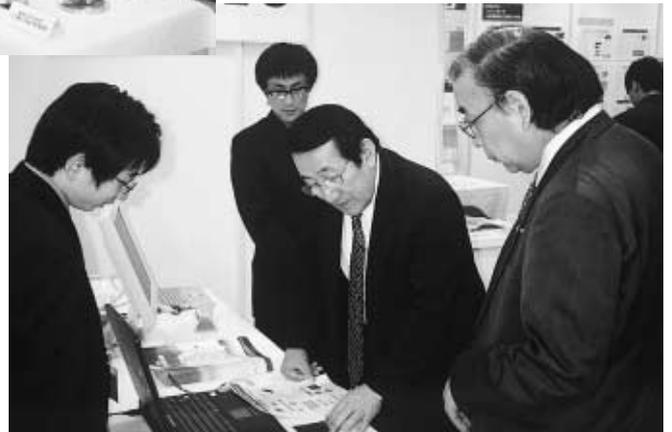


実演紹介「磁気浮上・磁気軸受の応用」
＝自然計測応用研究センター山田研究室

実演紹介「美術品のための上下動にも強い免震装置」
＝工学部北浦研究室



実演紹介「車いすの動力を利用した段差解消機」
＝工学部関研究室



実演紹介「薄膜の一体成形によるキースイッチ」
＝工学部尾田研究室

学長講義 「学問への誘い」

林学長は、教養的科目「学問への誘いー金沢大学の目指すもの」の講義を行った。この科目は学長をはじめ、副学長や全学部長が、大学で学ぶことの意義や学問の魅力について講義するもので、平成13年度から開講されており、毎年数多くの学生が履修している。

多くの学生が受講した林学長の講義
＝4月18日、総合教育棟C1講義室



特集 JABEE

工学部（土木建設工学科，機能機械工学科） JABEE認定

このたび工学部の土木建設工学科と機能機械工学科が、2002年度JABEE認定（2002年度－2006年度，5年間）を受け、日本技術者教育認定機構（JABEE）から4月15日，正式に認定証が交付された。2年後に再検査を義務付けられた大学がある中で最長の5年間の保証を得たもので，本学が目指す「教育を重視した研究大学」の実現に向けたFD活動の推進に寄与するものとして特筆される。

両学科の認定プログラム名などは次のとおり。

(1) 土木建設工学科：

プログラム名：土木建設工学科

－土木及び土木関連分野－

実施審査日：平成14年11月25日(月)，26日(火)

(2) 機能機械工学科

プログラム名：機能機械工学科

－機械及び機械関連分野－

実施審査日：平成14年11月11日(月)，12日(火)



JABEEからの認定証を手にする畑工学部長（左）と岡島工学部教授（右）



土木建設工学科の現地検査
(平成14年11月25日，26日)



機能機械工学科の現地検査
(平成14年11月11日，12日)

JABEE一口メモ1

- ・ 日本技術者教育認定機構（JABEE=Japan Accreditation Board Engineering Education）
設立：1999年（平成11年）11月19日，会長：吉川弘之
技術系学協会（土木学会，日本機械学会等）と密接に連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体
- ・ 大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが，社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し，要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定（Professional Accreditation）制度

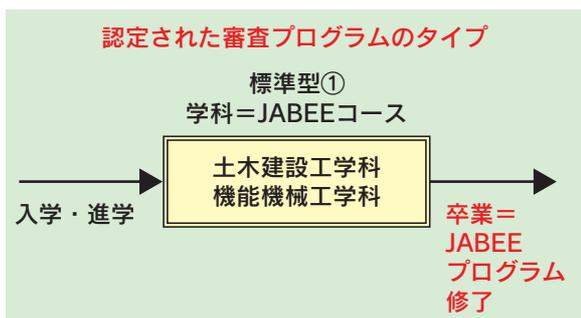
評価されたポイント

今回の認定は、土木建設工学科、機能機械工学科の両学科の努力はもとより、金沢大学の教育に対する情熱と支援による成果といえる。特に工学部は、平成7年度から『21世紀に活躍できる創造性ある工学技術者の養成を目指して』を合言葉に、教職員全員が教育方法改善（FD）活動を旺盛に展開してきた。その成果を基にして、両学科で特色ある効果的教育プログラムを実施していることが高く評価された。

また、角間キャンパスへの移転を2年後に控え、現在の古い校舎、教室、設備等が好環境にない状況にもかかわらず、演習室の改修等教育環境の改善に学部を挙げて最大限の努力を傾注している点も大いに評価された。

認定された審査プログラムの特徴

JABEE認定プログラムのタイプ（形式）は多種あり、学科内に少人数のJABEE専門のコースを設けて申請する大学もある。本学のJABEE認定プログラムは両学科の教育プログラムと完全に一致しており、両学科の平成14年度卒業生の全員に卒業証書とともに認定証書が授与された。なお、工学部では順次全学科の認定取得を目指しており、平成15年度には人間・機械工学科が認定申請する予定。



【畑 朋延工学部長の話】

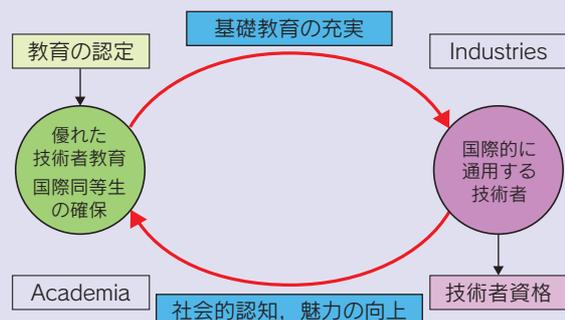
このたび、土木建設工学科と機能機械工学科の2学科がJABEEの認定を獲得して大変うれしく思います。工学部ではFD活動が活発に行われ、卒業生の協力によるアウトカムズ評価を通して教育方法を継続的に改善するシステムが出来上がっております。教職員全員一丸となった協力と学科関係者の努力によって、教育に対する強い思いが通じて得られた当然の結果であると思っています。



JABEE一口メモ2

技術者教育認定の目的

JABEEは、教育プログラムの認定を通じて技術者教育の向上を実現し、その国際同等性の確保を目指すものである。認定の対象はまさしく教育そのものであり、実施の責任は大学等Academiaが担っている。右図の左の輪が、JABEEが対象とする学士レベルの技術者基礎教育を示している。(http://www.jabee.org/)



受賞

春の叙勲受賞の方々(本学関係分)

4月29日、平成15年春の叙勲受賞者が発表され、本学関係では、次の4氏が栄えある勲章を受章した。(敬称略)



勲三等旭日中綬章
すずき ひろし
鈴木 寛
名誉教授、元法学部教授



勲三等旭日中綬章
やまもと がいし
山本 外史
名誉教授、元工学部教授



勲四等瑞宝章
まきの いくぞう
牧野 育造
元医学部附属病院事務部長



勲六等宝冠章
さかもと はるあき
坂本 春楽
元医学部附属病院看護部長

放射線影響研究功績賞

このたび、自然科学応用研究センター小村和久教授は、財団法人放射線影響協会から研究功績賞を受賞した。

小松市の尾小屋銅鉱山トンネルにおける、世界でトップレベルの低レベル放射線観測が評価されたもの。



小村教授

日経BP技術賞 医療バイオ部門賞

4月4日、理学部安藤敏夫教授及び自然科学研究科博士後期課程大学院生古寺哲幸さんは、日経BP社「日経BP技術賞」(医療・バイオ部門)を受賞した。

ナノの世界の蛋白質の動きを観察する高速原子間力顕微鏡の開発が評価されたもの。



安藤教授(中央)と古寺さん(右)、左は共同受賞者



受賞対象となった医学部附属病院病棟

文教施設部長賞 計画部門

このほど、医学部附属病院病棟が平成14年度文部科学省「文教施設部長賞」計画部門受賞施設に選出された。機能的看護活動に配慮した室配置、最新の免震構造、快適な医療環境に配慮した病室など優れた設計が評価された。

なお、表彰式は6月初旬に開催される国立大学等施設部課長会議において行われる。

公開講座紹介

平成15年度金沢大学公開講座

講座名	主任講師	開催場所	開催時期
音楽の楽しみ方いろいろ(Ⅲ) ー簡単な材料でできる手作り楽器教室ー	教育学部 篠原 秀夫	教育学部芸術棟	5月10日～5月17日
化学実験体験講座 奇跡のホルモン・メラトニンを合成してみよう(その2)	薬学部 染井 正徳	薬学部 薬化学研究室	5月10日～5月31日
剣道 ー剣道指導の科学的基礎ー	教育学部 恵土 幸吉	角間第2体育館	5月17日～6月14日
美術へのいざない(V) 大人の造形遊び ークレアアニメーションー	教育学部 鷺山 靖	サテライト・プラザ	5月17日, 18日 6月7日
留学生教育への扉	留学生センター 三浦 香苗	大学教育開放センター 角間第2体育館	5月24日～6月14日
美術へのいざない(VI) ー木口木版による版画制作ー	教育学部 大村 雅章	サテライト・プラザ	6月4日～7月9日
リカレント教育講座 参加型計画の理論と技法	工学部 川上 光彦	工学部秀峯会館	6月7日～6月21日
法学公開講座 「バリアフリーからユニバーサルデザインへ」 ー“生きやすい社会”とこれからの法ー	法学部 中村 正人	大学教育開放センター	6月21日～7月19日
美術へのいざない(VII) ー塑造による頭像の制作ー	教育学部 江藤 望	教育学部芸術棟第2彫刻教室	6月21日～7月13日
コードネームを使った簡単なピアノ伴奏講座 ー初級コースー	教育学部 篠原 秀夫	教育学部芸術棟音楽ホール	7月5日～7月12日
VLSI設計講座 VLSI System Design	工学部 吉本 雅彦	工学部電子情報棟 3階VLSI設計室	8月4日～8月6日
中高校生のためのショウジョウバエを用いた遺伝子研究講座	医学部 東田 陽博	医学部医学科第1講義室	8月20日～8月21日
ライフスタイルと健康	保健学科 城戸 照彦	医学部保健学科講義室	8月20日～9月10日
言語学から見た金沢弁	文学部 新田 哲夫	サテライト・プラザ	8月23日～9月13日
教員のための手話講座(中級)	教育学部 武居 渡	教育学部 103講義室	8月25日～8月26日
ドイツの生活文化 ー日本との差違ー	外国語教育研究センター 菊池 悦朗	大学教育開放センター	9月6日～10月11日
おとなと子どもで一緒に楽しむ化学実験	理学部 中西 孝	理学部化学科 学生実験室2	9月13日～10月11日
パワーポイント入門	大学教育開放センター 浅野 秀重	大学教育開放センター	10月18日～11月15日
健やかな命を保つために学びましょう	薬学部 染井 正徳	サテライト・プラザ	10月25日～11月15日
進化発生学へようこそ! ー動物のかたち作り遺伝子と進化ー	理学部 山口 正晃	サテライト・プラザ	11月22日～12月6日
未来を背負って立つ子どもたち	大学教育開放センター 浅野 秀重	サテライト・プラザ	2月13日～3月12日
市民のための哲学入門(2) ー思想史を中心にー	教育学部 岡崎 文明	大学教育開放センター	3月2日～3月30日

お問合せ：金沢大学大学教育開放センター TEL076-264-5272～3, FAX076-234-4045

E-mail kaihou@ad.kanazawa-u.ac.jp ホームページ http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/koukaikouza.html

発

行

お問合せ：総務部企画広報室



- 『金沢大学総合移転』第5版
総合移転の経緯、第I期、II期事業の概略をお知らせする冊子



- 平成14年度金沢大学サテライト・プラザ「ミニ講演」講演録集
昨年度開催のミニ講演録をまとめた冊子

研修会等

新任教官説明会

4月4日、平成15年度新任教官説明会が開催され、28名の教官が出席した。

説明会では、学長、各副学長、事務局長及び事務局各部長から、平成16年度からの国立大学法人化を見据え、本学の現状と諸課題、運営等について説明が行われた。



本学の現状と課題について説明する林学長と熱心に聞き入る教官
＝総合メディア基盤センター プレゼンテーション室



総合メディア基盤センターの説明を受ける受講者

新規採用者研修

金沢大学新規採用者研修会が4月10日に開催され、12名が出席した。

研修会では、事務局各課担当者等から、本学を取り巻く諸課題及び事務に関する基礎的事項の説明が行われた。

また、角間II期建物、医学部附属病院、附属図書館及び総合メディア基盤センター等の現地見学も行った。

TA研修会

4月17日・21日の両日、教養教育機構はティーチング・アシスタント（TA）を対象とした初めての研修会を開催した。

研修会では、田中教養教育機構長から、本学の教養教育が目指す理念、目標やTAの任務などについて説明があり、前期の教養的科目を担当するTA45名が出席した。



＝4月17日、総合教育棟B6講義室

サテライト・プラザ

第54回金沢大学暁烏記念式・記念講演



記念講演を行う松田教授
=金沢大学サテライト・プラザ

4月26日、通算で54回目となる「暁烏記念式・記念講演」が開催された。この行事は、石川県松任市出身の宗教家暁烏敏（あけがらす・はや）師が、創設時の金沢大学に対して個人蔵書5万余冊を寄贈されたことを記念し、師の遺徳を偲ぶため毎年行っているもので、今年は学内外から106名の参加があった。

記念講演では、暁烏敏師に関する研究や全集刊行に携わるなど師にゆかりの深い松田章一 金沢学院短期大学教授が、「暁烏敏の意義」と題して明治・大正・昭和の各時代における暁烏敏師の課題と足跡について話された。

暁烏敏師没後50年を迎えた今年、特別展「没後50年記念 暁烏敏展」を金沢大学資料館で4月7日から5月30日まで開催している。（土・日休館）



特別展に展示されている暁烏敏師直筆の原稿
「『歎異抄』を読む」
=金沢大学資料館展示室



初代戸田学長による「暁烏文庫の由来」を記した銘板
=旧城内キャンパス本丸三十間長屋を書庫とした最初の図書館玄関に掲げられていたもの

ミニ講演 「精神医学からみた 不登校とひきこもり」

- 月 日：4月21日
- 講 師：棟居俊夫医学部附属病院講師
- 場 所：金沢大学サテライト・プラザ
- 来場者：70名



訃 報

ここに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
4月21日 逝去
坂井俊之助がん研究所助教授
享年61歳



春の野鳥観察会 —角間の里山自然学校—

4月26日午前、野鳥観察会を行った。新緑が目映いハナシジャコ尾根（角間大橋を渡り右手の遊歩道がある尾根）を歩き、野鳥のさえずりの聞きなしをした。聞きなしとはさえずりがどの野鳥のものであるかを同定することをいう。

講師が野鳥のさえずりの聞こえる方を指さし、野鳥の名前を告げる。すると、参加者はその名前とさえずりを聞こえたままにカタカナ表記でメモする。こうして一つでもさえずりの主の名前がわかると野鳥がますます身近な存在となる。



野鳥のさえずりに耳をすます参加者



新緑の中を散策する園児たち

附属幼稚園 角間の里山で遠足

4月28日、附属幼稚園の4歳児と5歳児学級が角間キャンパス～ハナシジャコ遊歩道～杉林内ベンチ広場往復の遠足を行った。初めは「虫がこわい」とベソをかいていた子どもも、新芽のにおい、ウグイスの鳴き声、尾根をわたるさわやかな風に「気持ちいいね。」と元気いっぱい里山をかけ回った。

編 集 後 記

4月21日のミニ講演の取材に行ってきました。収容人数50人のサテライト・プラザ講義室に70人もの方が来場され、いかに多くの保護者や先生方が「不登校」や「ひきこもり」に直面し、対応に苦慮されているかがうかがえました。このように、大学教育開放センターの企画による社会のニーズに応えた内容のミニ講演が、昨年度はほぼ月1回開催され、多くの方々に御参加いただきました。

先ごろ、その講演内容を講演録集として発行し、学内外に配付いたしました。是非御一読いただくとともに、今後開催されるミニ講演にも御参加いただければと思います。

今後のミニ講演の情報は、日時と内容が決定次第、本学ホームページ（金沢大学サテライト・プラザのイベント情報）に掲載します。要チェックですよ。皆様の御来場を心からお待ちしております。

（総務部企画広報室企画係長 村田 靖）

平成15年5月23日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5024
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉
（アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）=general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。